



平成26年4月22日(火)
荒川水系渇水調整協議会
(事務局:関東地方整備局)

記者発表資料

平成26年度
第1回荒川水系渇水調整協議会
(春季定例会)の開催結果について

1. 開催状況

日時:平成26年4月21日(月) 15:00~

場所:さいたま新都心合同庁舎2号館
国土交通省関東地方整備局 14階 災害対策本部室

協議会構成:国土交通省関東地方整備局、東京都、埼玉県、
独立行政法人水資源機構

協議会の目的:荒川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、
神奈川建設記者会、東京都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省		住所	〒330-9724
関東地方整備局	河川部水政課		埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
水政調整官	中村 一夫 (内線) 3515		さいたま新都心合同庁舎2号館
水政課長	小池 勇 (内線) 3551	電話	(代表) 048-601-3151
建設専門官	安蒜 実 (内線) 3557		

現状と今後の対応

(1) 現状

- ・降水量（秋ヶ瀬上流域平均）の状況
 - 1月の累加降水量は8mm（平年の23%）
 - 2月の累加降水量は179mm（平年の458%）
 - 3月の累加降水量は51mm（平年の75%）
 - 4月20日までの累加降水量は25mm（4月の累加降水量の平均は98mm）
- ・荒川上流4ダムの貯水状況（4月21日0時現在）
 - 貯水量は平年を上回る貯水量となっています。
 - 貯水量1億0,143万m³、貯水率70%、平年比154%
- ・荒川4ダムのうち、二瀬ダムは施設の維持管理に必要な工事を実施するため、貯水量を制限した運用を行っていますが、本年の6月中旬までには工事を完成させる予定です。

(2) 今後の見通し

- ・気象庁発表の気象情報（3ヶ月予報）によると、4月の降水量は「少ない」、5月、6月は「平年並」となっています。
- ・また、荒川4ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期となることから、今後の降雨状況によっては、ダムの貯水量が不足することも考えられます。

(3) 今後の対応

- ・今後は、荒川上流域の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
 - また、上流ダム群の貯水量の状況や降水量の状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- ・荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的な対応を行っていきます。

荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



滝沢ダム(平成26年4月17日撮影)

平成26年4月21日

関東地方整備局

1. 荒川ダム群等の現状

(1) 降水量

平成25年4月以降の荒川秋ヶ瀬上流域平均累加降水量は、5月、7月、8月及び11月が平年を下回りました。

平成26年に入り、1月、3月は平年を下回りましたが、2月は平年を上回りました。4月の月降水量は、20日までの累加で25mmとなっています。(4月の累加降水量の平均は98mm)

(図-1、表-1)

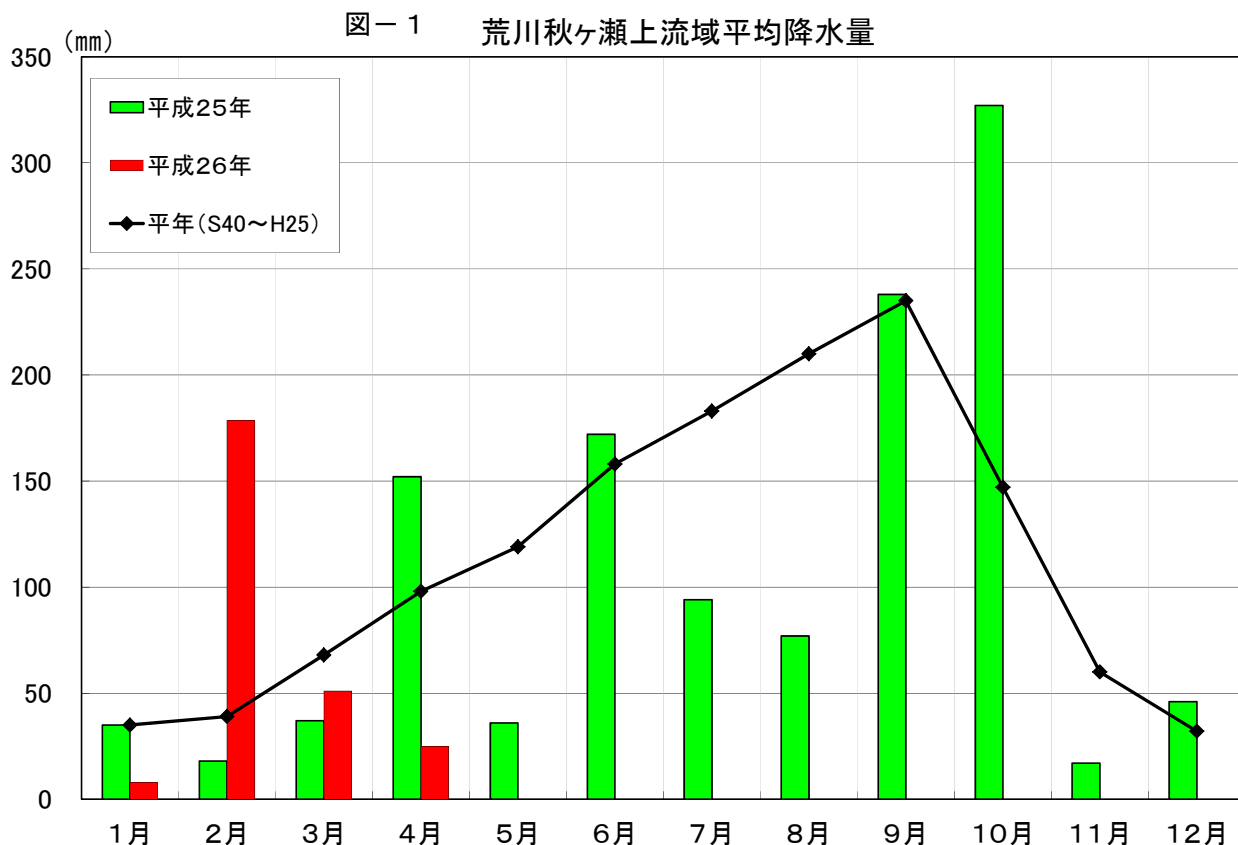


表-1 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量 (平成26年4月20日まで)

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏渇水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	利根川夏渇水
平年(S40-H25)	35	39	68	98	119	158	183	210	235	147	60	32	1,383	
平成26年	8	179	51	25									263	
平年比(%)	23	458	75	25									19	

※. 荒川取水制限実施月 (一時緩和含む)

※. 秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km²

(2) 荒川上流ダム群の貯水状況

平成25年の荒川上流4ダムは、5月中旬より都市用水や農業用水の需要を確保するために、ダムに貯留した水を補給しました。その結果貯水量が減少しました。

9月中旬以降は台風等の降雨によりダムの貯水量が回復し、平成26年4月21日0時の貯水量は1億0,143万m³、貯水率70%、平年比で154%となっています。

(表-2、図-2)

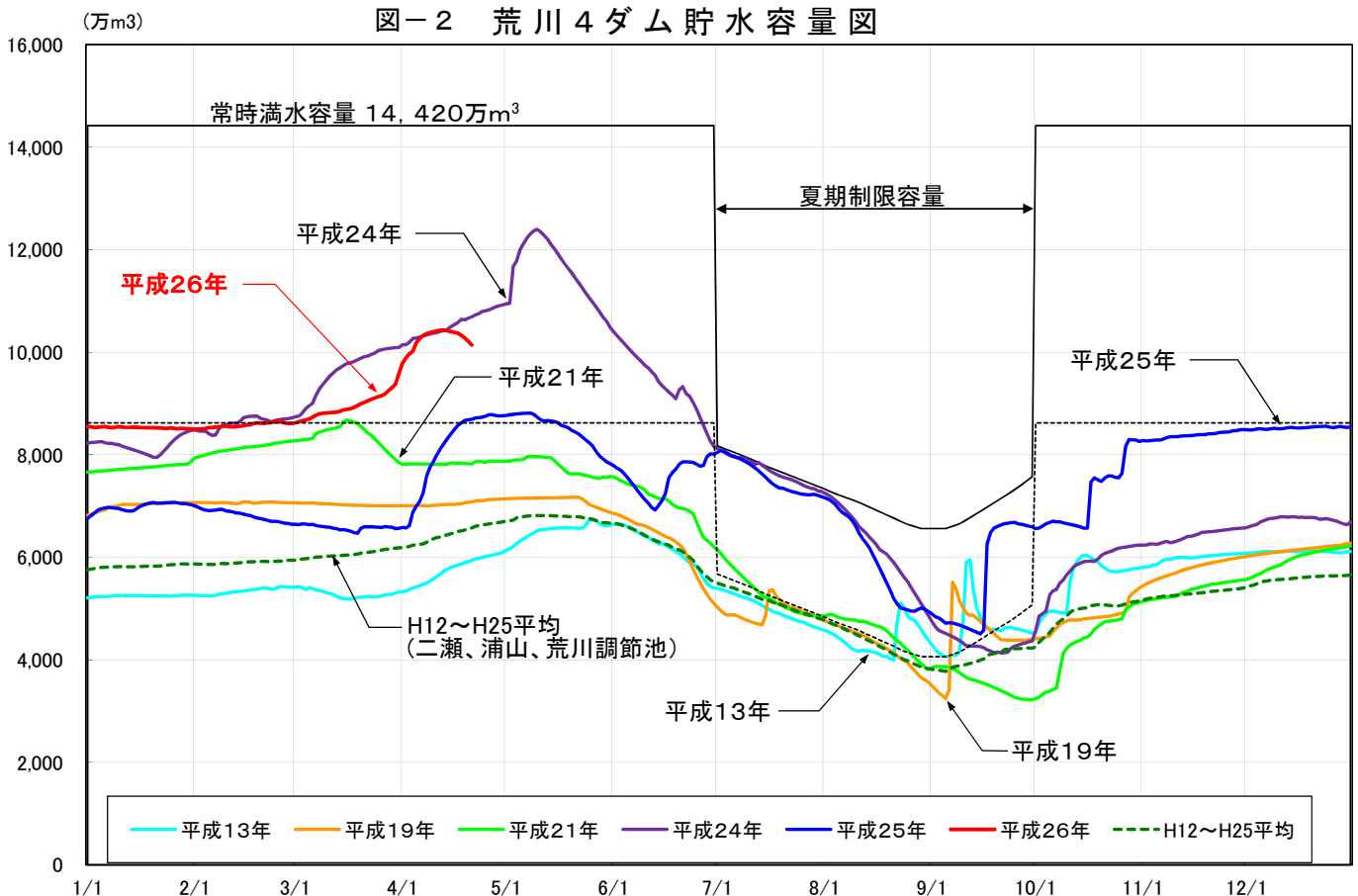
表-2 荒川4ダム貯水量

平成26年4月21日0時現在

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
二瀬ダム	2,000	904	45	-10
滝沢ダム	5,800	4,990	86	84
浦山ダム	5,600	3,234	58	-5
荒川貯水池	1,020	1,015	100	2
4ダム合計	14,420	10,143	70	71
3ダム(二瀬、浦山、荒川貯水池) 合計の平年値(H12~H25平均)		6,573	(平年比154%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い)
4. 平年比は、二瀬ダム、浦山ダム、荒川貯水池の3ダムの平年貯水量に対する割合であり、参考値。

図-2 荒川4ダム貯水容量図



※H12~H25平均は、二瀬ダム、浦山ダム、荒川貯水池の3ダムの合計である。

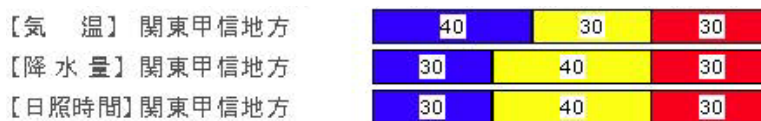
2. 今後の見通し

(1) 見通し

① 平成26年4月17日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(4月19日から5月18日までの天候見通し)によると、平年と同様に晴れの日が多く、向こう1ヶ月の降水量は「平年並」の確率が40%となっています。また、3月25日気象庁発表の3か月予報(4月から6月までの天候見通し)によると、4月は平年と同様に晴れの日が多く、降水量は「少ない」の確率が40%となっており、5月の天気は数日の周期で変わり、6月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、降水量は5月、6月ともに「平年並」の確率が40%となっています。

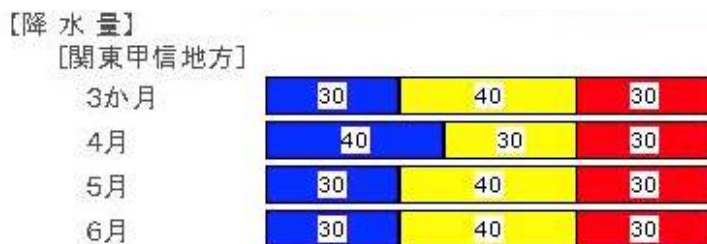
なお、2月25日気象庁発表の暖候期予報(3月から8月までの天候の見通し)によると、6月から7月は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、降水量は「平年並」の確率が40%となっています。

1か月予報(平成26年4月17日発表)



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3か月予報(平成26年3月25日発表)



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

暖候期予報(平成26年2月25日発表)

〈夏(6月～8月)の気温、降水量の各階級の確率(%)〉



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

〈梅雨の時期(6月～7月)の降水量の各階級の確率(%)〉



凡例: ■ 少ない ■ 平年並 ■ 多い

3. 非洪水期における工事制限水位等について（予定）

